

現地斗争本部の増改築強化をかちとる！

収用委員全員が辞任！

日刊 勤労千葉

1988.10.28
No. 2915

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五〇六（公衆）〇四七二二二七二〇七

新たな勝利への確信深め 三里塚全国集会開かれる

十月二四日、成田空港の二期用地を強制収用するための千葉県収用委員会の委員が全員辞任した。戦争のための軍事空港建設反対！人件無視・有事立法につながる土地収用反対！この反対同盟の正義・大義の闘いの前に倒れたのだ。反対同盟は今秋、収用委員会再開（＝再開された時はすでにお膳立ては整い、強制収用＝機動隊暴力による強制代執行を採決するのみ）の情勢を見据え、三月から収用法反対の署名運動を始めとした様々な行動を積極的に取り組んできた。

いるとおり、「国家プロジェクトを一地方機関に任せるのはおかしい」のであり、政府・自民党のごう慢・横暴なやり口が、反対同盟の圧倒的な正義の前に打倒されたのである。

反対同盟は、（勤労千葉も全くそうだが）権力・革マルからあらゆる卑劣な手段を使ったデマ・ひぼう中傷、闘争破壊と対決し、闘い抜いてきた。そして、なによりも土地収用＝強制代執行それ自身が、農民の生活を破壊し、生きていくことを奪う攻撃なのだ。そうしたデマ・ひぼう中傷を打ち破って闘い抜けたのは、反対同盟に圧倒的な正義があるからだ。この勝利をしっかりと確認し、さらなる前進を！

全国から一万四百名の労農学が結集！

十・二三三里塚全国総決起集会は、農地強奪の手先・収用委員が全員辞任するという重大な勝利が勝ちとられる情勢のなか、一万四百名の結集でかちとられた。

三里塚現地はいま、現地闘争本部の強化＝改築・要塞化にみられるように、政府・公団の強制代執行の攻撃に対し、三里塚闘争二三年間の不屈・非妥協の精神を更に燃えさせたぎらせ不退転で闘う決意を打ち固めている。

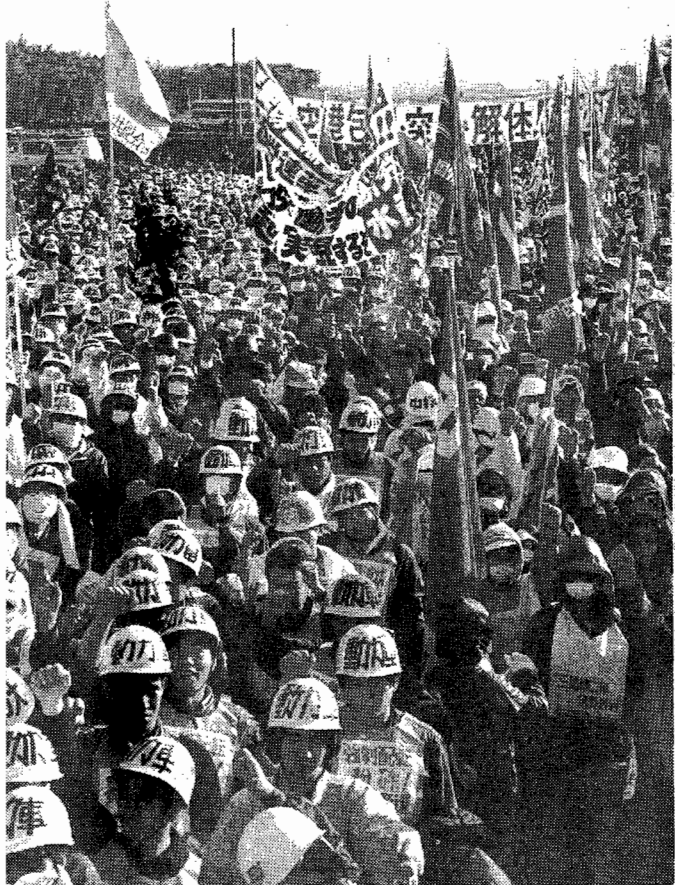
勤労千葉は、労農連帯の旗を掲げ、一四〇名で現地集會に決起。現地集會に先立ち、成田において前段集會を行う。水野副委員長の挨拶を受け、現地向かう。

会場になった市東さんの畑には続々と権力の不当



新たな勝利をかちとり、自信あふれる基調報告を提起する反対同盟北原事務局長

な検問をはねかえし、全国の闘う仲間が結集。基調報告にたった北原事務局長は、「二三年間の三里塚の闘いの正義性は満天下に示されている。現地では、公団による農民追い出しに対し、連日闘争を貫徹し、敵を追い詰めている。B・C滑走路は、反対同盟が厳然と存在し、そして全国の仲間の結集と実力闘争がある限り出来ない。九〇年二期工事の概成を破産

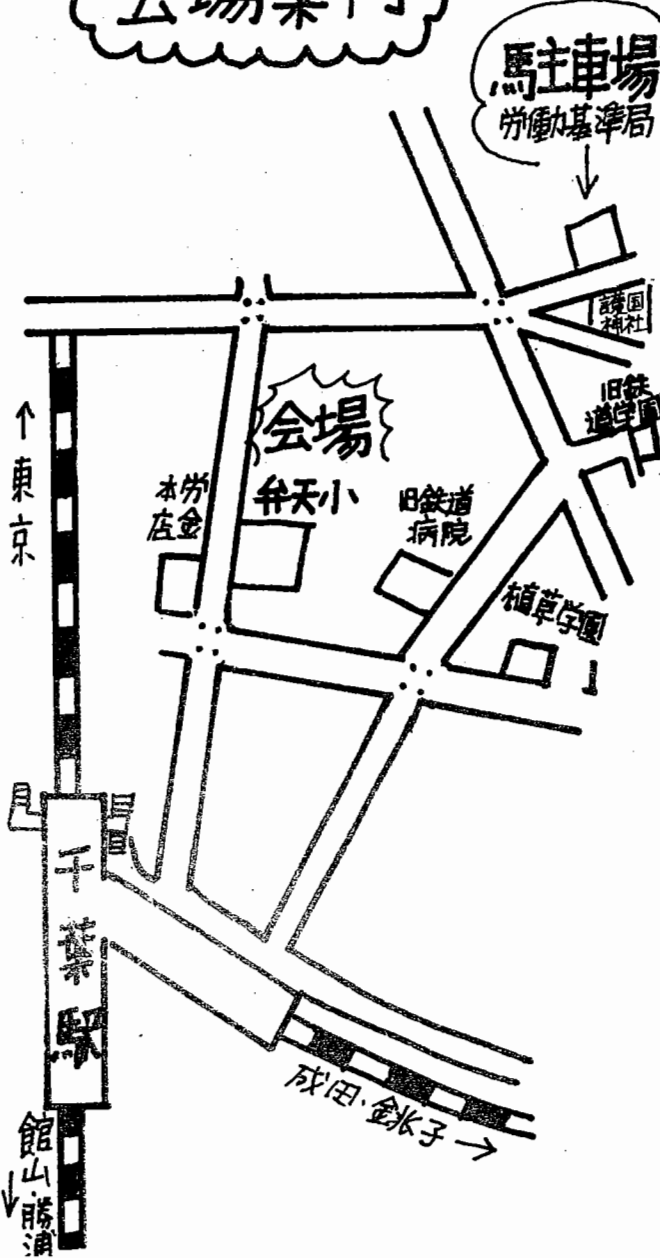


「90年二期概成プランの破産」を空港公団が自認、収用委員全員が辞任、現地闘争本部の増改築＝強化という勝利を確認し、秋～冬の決戦に突入することを全参加者が誓い合う！

家族そろって

参加しよう

会場案内



第10回 動労千葉

団結祭典



★11月3日★ 小田天井

会開30分9時 ● 校塚三 ● 9時

に迫込み、さらに収用委員の全員の辞任をかちとつた。彼らは、われわれの正義の前に打倒されたのだ。われわれは日々勝利している。反対同盟の闘いの方向は鮮明だ。三里塚の闘いは人民の未来をつくる闘いである。」と完全勝利に向け闘いを貫こう!と訴えた。

続いて、敷地内で闘う市東氏、郡司とめ氏が演壇にたち、それぞれ「労働学共闘の闘いが政府の政策を破産に追込んでいっている。」「強制代執行に対して断固闘う。」と固い決意を述べられた。また、青行隊の宮本氏からは、土地収用法に反対する署名運動の展開の強化が訴えられ、芝山町を廃村化する騒音特別対策法に反対し闘い続ける鈴木幸治氏は、「成田にのみ作られたこの騒音法は、成田空港が軍事空港であることを証明するものだ。町当局に連日抗議闘

争を貫徹している。これは単に芝山町のみで闘いではなく、全人民の闘いだ」と訴えた。

全国の闘う国鉄労働者を代表し、動労水戸の福田書記長が結成以来初のストライキ報告と闘う決意、動労千葉から中野委員長からのストライキに向けた決意が述べられ、「三里塚―国鉄決戦に勝利する」「右翼労働統一に対決する」闘いを参加者全員が固い拍手で確認した。

三里塚は、誰もか予想を超える勝利をかちとるすばらしい闘いだ。今回の収用委員の全員辞任という画期的な勝利は、まさしくそのことを示して余りある。三里塚の闘いの質をわれわれ労働者がガッツリ学び、労働運動に生かしていかなくてはならない。労働連帯の固いきずなをさらに強化し、三里塚闘争に勝利しよう!